

広 報

2024年7月号

編集委員 黒須俊行 南出美佐 原嶋洋 原田由紀子 前原直之

※令和6年度レクリエーションのご案内

7/16に申込を締切し定員となりました。
お申込みされた皆様は全員参加可能です。
後日、事務局よりご連絡いたします。

※地区研修会のお知らせ

令和6年度第1回豊島区薬剤師会地区研修会を開催いたします。管理薬剤師の先生は必ずご受講ください。なお、本研修会は基準薬局認定の必須研修会となりますので、受講忘れの無いようお願いいたします。また、東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度2単位の扱いとなります。

日 時：令和6年8月31日(土) 18:25~21:30

開催方法：①ZOOM ウェビナー使用のWEB開催

基準薬局・研修認定シールが必要な方は当日WEB受講のうえ、要キーワード報告

②オンデマンド配信

9/5(木)~9/16(月)を予定：申込者にメールで連絡します。

当日受講できない方は後日視聴してください。キーワード報告不要(単位付与なし)

内 容：1. 都薬アワー 18:30~19:30

「薬局DXの推進とかかりつけ薬剤師の多職種連携で地域のハーモニーを奏でよう！」

公益社団法人東京都薬剤師会 常務理事 和田 早也乃 先生

公益社団法人東京都薬剤師会 理 事 三溝 学 先生

2. 臨床薬学講習 19:30~20:30

「緊急避妊薬について」

医療法人社団 愛慈会 松本レディース IVF クリニック

名誉院長 松本 和紀 先生

3. 社会保険講習 20:30~21:30

「未定」

公益社団法人豊島区薬剤師会 理 事 原嶋 洋

申込方法：豊島区薬剤師会 HP「勉強会・研修会情報」ページよりお申込みください。

申込期間：8月1日(木)9:00~8月23日(金)12:00

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 「東京都 薬薬連携 実践推進研修会」の開催について

日 時：令和6年9月28日(土) 16:00~18:30(予定)
開催形式：集合研修と配信視聴併用のハイブリッド形式
 《会場》 帝京平成大学薬学部 中野キャンパス 2階 講義室 225(東京都中野区中野 4-21-2)
 《配信》 Zoom を利用したライブ配信
受講対象者：都内在住・在勤の薬剤師
定 員：会場 先着 200 名、配信 先着 1,000 名
参加費：無 料
単位認定：東京都薬剤師会 生涯研修認定制度 集合研修 1 単位
申込方法：東京都薬剤師会ホームページ (<https://www.toyaku.or.jp/>)
 「お知らせ」より、お申込みください。
 *Zoom 参加 URL、ウェビナーID、研修会テキストのダウンロード URL 等は後日、申込者に直接メールで送信します。
申込期間：8月1日(木)10:00~8月30日(金)15:00

2) 【再掲】令和6年度 薬学講習会の開催について

開催日時：令和6年8月25日(日) 13:00~16:25(受付開始 12:15)
開催形式：集合研修と配信視聴のハイブリット形式
 《会場》 「星薬科大学 メインホール」(東京都品川区荏原 2-4-41)
 《配信》 「Zoom 配信(ライブ配信のみ)」
定員数：《会場》先着 700 名 《配信》先着 2,000 名
受講料：無 料
申込方法：都薬ホームページ「お知らせ」よりお申し込みください
 ※定員に達し次第受付を終了します
単位認定：東京都薬剤師会(G26)認定 2 単位

3) ファビピラビル製剤の使用に当たっての留意事項について

今般、ファビピラビル製剤(販売名:アビガン錠)について、「重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染症」を効能又は効果に追加するための承認事項の一部変更が承認されたとのことです。これに伴い、本剤の使用に当たっての留意点が示されております。

※詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年7月資料

https://drive.google.com/file/d/1vq96S7dh6ubnHpT_fB3MxdwLe0aK8kpX/view?usp=drive_link

4) 「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の改定について

新型インフルエンザ等政府行動計画につきましては、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき2013年に策定(2017年に一部改定)されたところですが、先の新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、抜本的に改定されました。また、薬局に関しては、感染症法に基づく第二種協定指定医療機関として「調剤・医薬品等交付・服薬指導」の役割が明記されました。

※詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら >

会長会資料からの伝達事項 > 令和6年7月資料
https://drive.google.com/file/d/1S2_7mePTIXShAJboWly9fluImNaB7kgoE/view?usp=drive_link

5) 能登半島地震に係る災害対策本部の解散について

日本薬剤師会では令和6年1月1日の震災当日に災害対策本部を設置し、都道府県薬剤師会の多大なご支援ご協力を得ながら対応してまいりました。震災から半年が経過し、被災地における応急的な支援対策はおおむね完了したことから、6月末をもって災害対策本部を解散することといたしました。

災害対策本部は解散いたしますが、必要に応じ引き続き被災地等の復興支援に協力する所存でありますのでご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

6) 医療機関向けオンライン講座「東京都の里親制度について」のご案内について

東京都福祉局子供・子育て支援部育成支援課が医療機関向けオンライン講座「東京都の里親制度について」を開催いたします。

日時：9月20日（金） 13：30～14：30

対象：東京都内の医療機関に勤務する皆様

申込：こちらのQRコードまたは下記URLのフォームからお申込みください。

<https://forms.gle/Kb9KNq5uh4N9bHMSA>



より詳しく東京都の里親制度について理解を深めたいというご希望がございましたら、本講座とは別に都の担当職員が会員薬局に伺ってご説明申し上げることも可能ということです。ご不明な点がございましたら、都の担当職員までご連絡ください。

Tokyo 里親ナビ：<https://tokyo-satooyanavi.com/>



出前講座申込フォーム：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeWu5TyGH0epVQI07sgfuWuxnIDo9ARbCF60cWIsLRWXQ1bXQ/viewform>



【お問合せ】

東京都福祉局 子供・子育て支援部 育成支援課 里親担当 加藤・前田 電話 03-5320-4135

東京都里親支援機関事業社会福祉法人 二葉保育園 二葉乳児院

二葉・子どもと里親サポートステーション 里親リクルーター 中村・中川 電話 03-3351-3108

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 通常総会の報告

令和6年6月24日（月）に公益社団法人豊島区薬剤師会総会を行いました。
理事改選により新たな執行部が決まりましたのでご報告させていただきます。
今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

<新執行部>

会長

佐野 雅昭

副会長	伊原 孝子
副会長	江村 公良
副会長	佐藤 栄輔
常務理事	田崎 崇
常務理事	元谷 英志
常務理事	南出 美佐
常務理事	黒須 俊行
理事	林 敦子
理事	内山 賢一
理事	原嶋 洋
理事	小林 晃洋
理事	北川 晋
理事	原田 由紀子
理事	藤平 健
理事	青嶋 亮 (新任)
監事	大澤 誠
監事	廣田 悦造

2) 【再掲】 高齢者の服薬情報提供事業へご協力のお願い

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」へのご協力をいただき誠にありがとうございます。

残薬バッグの追加をご希望の場合は、事務局までご連絡ください。

なお、患者さんが来局され対応された先生は、引き続き翌月10日までに事務局まで所定の用紙にて報告をいただきますようお願いいたします。

3) 【再掲】 豊島区薬剤師会ホームページ更新について

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行うためにホームページをリニューアルしました。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす (地図またはリストで探せます)

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWIはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員退会

鵜野 郁子 (A) 雄飛堂薬局上池袋店 上池袋3-1-6

会員入会

鵜野 郁子 (A) すず薬局上池袋店 上池袋3-1-6

会員数報告

A 会 員	114 名
B 会 員	15 名
賛助会員	2 名
合 計	131 名

保険部より

1) 電子処方箋保存サービスの利用について

地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、支払基金等において、調剤済み処方箋の保存を薬局に代わって行うサービス業務（電子処方箋保存サービス）を行うことができることについては、本年4月2日付け日薬情発第3号にてお知らせしたところですが、今般、本年6月6日より、当該サービスの運用が開始されたとのことです。本サービスの利用申請については、医療機関等向け総合ポータルサイトから行うこととされております。

○医療機関等向けポータルサイト 該当ページ

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0011351

2) 令和6年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について

令和6年度診療報酬改定関連通知等の一部訂正につきましては、令和6年5月31日付け日薬業発第89号ほかにてお知らせしたところですが、今般、厚生労働省保険局医療課より、通知等の一部訂正について連絡がありましたのでお知らせいたします。

調剤報酬点数表に関する事項

<調剤技術料> 区分01薬剤調製料

自家製剤加算

ウ 「注6」のただし書に規定する「別に厚生労働大臣が定める薬剤」とは、薬価基準に記載されている薬剤と同一剤形及び同一規格を有する薬剤をいう。ただし、当該医薬品が薬価基準に記載されている場合であっても、供給上の問題により当該医薬品が入手困難であり、調剤を行う際に必要な数量を確保できない場合は除く。なお、医薬品の供給上の問題により当該加算を算定する場合には、調剤報酬明細書の摘要欄に調剤に必要な数量が確保できなかった薬剤名とともに確保できなかったやむを得ない事情を記載すること。

エ 薬価基準に記載されている医薬品に溶媒、基剤等の賦形剤を加え、当該医薬品と異なる剤形の医薬品を自家製剤の上調剤した場合に、次の場合を除き自家製剤加算を算定できる。

(イ) 調剤した医薬品と同一剤形及び同一規格を有する医薬品が薬価基準に記載されている場合。

ただし、当該医薬品が薬価基準に記載されている場合であっても、供給上の問題により当該医薬品が入手困難であり、調剤を行う際に必要な数量を確保できない場合は除く。なお、医薬品の供給上の問題により当該加算を算定する場合には、調剤報酬明細書の摘要欄に調剤に必要な数量が確保できなかった薬剤名とともに確保できなかったやむを得ない事情を記載すること。

3) マイナ保険証の利用促進に係る広報へのご協力について（お願い）

マイナンバーカードと健康保険証の一体化につきましては、令和6年1月24日付厚生労働省保険局長通知「マイナ保険証の利用促進に向けた更なる取組への御協力をお願いについて」により、国から

医療保険者に対してマイナ保険証利用率の目標が定められ、あらゆる機会を通じた利用促進に関する周知広報を行うことが求められています。

このため、全国健康保険協会東京支部では、より多くの加入者の皆様に安心してマイナ保険証をご利用いただくため、積極的な周知広報を実施しています。つきましては、以下の URL に掲載の「マイナ保険証の利用促進に関するチラシ」を活用した広報・周知に関しまして、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年7月資料

https://drive.google.com/file/d/1pdWzjgImF7FbLPXTZ9WMQH00MfJ3At_x/view?usp=drive_link

【問い合わせ先】

全国健康保険協会東京支部

企画総務グループ 鶴崎(トザキ)、村上

電話 : 03-6853-6530 FAX : 03-6853-6565

4) 医療機関・薬局におけるマイナ保険証利用促進のための支援について

マイナ保険証利用促進集中取組月間における医療機関・薬局への支援につきましては、令和6年4月24日付け日薬業発第44号ほかにてお知らせしたところですが、先日の社会保障審議会医療保険部会において、別添のとおり医療機関・薬局に対する利用促進支援施策の詳細が示されました。内容は、高利用施設に対する更なる利用率の向上を促すため、利用人数の増加に応じて、診療所・薬局の一時金を最大20万円に引き上げることやマイナ保険証の利用件数が500件を超えている場合の顔認証付きカードリーダーについて、利用数のカウントの対象となる期間を見直すこと（令和5年10月から令和6年3月までの期限を令和6年7月まで延長）等が示されています。

(別添)

マイナ保険証の利用促進等について

(令和6年6月21日開催 第179回社会保障審議会医療保険部会 資料・抄)

<https://saiyaku.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/06/240625gyo113.pdf>

5) サイバー攻撃を想定した事業継続計画（BCP）策定の確認表について

「令和6年度版「薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・事業者向け～」について」（令和6年5月13日付け医政参発0513第8号、医薬総発0513第1号、厚生労働省 医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官、厚生労働省医薬局総務課長通知）において、サイバー攻撃を想定した事業継続計画（BCP）については、「今後BCP策定に関する手引きを作成し、別途お示しする予定です。」とお示したところです。「サイバー攻撃を想定した事業継続計画（BCP）策定の確認表」（以下「確認表」という。）を作成するとともに、確認表を分かりやすく解説した「サイバー攻撃を想定した事業継続計画（BCP）策定の確認表のための手引き」を作成しました。本内容については、以下の厚生労働省HPに公表しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000516275_00006.html

6) 【再掲】 保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用のページを設けております。URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > googleドライブはこちら

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvj16An3GWZy3JDSIglSOTVlawlKDRX>

保険部より

保険部情報をこちらのGoogleドライブに掲載しています。

Googleドライブはこちら

学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

8月の勉強会はありません。

9月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和6年9月12日（木）19:55-21:30

場所：今回は情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：「災害時における薬剤師の役割（仮）」

演者：東京慈恵医科大学付属病院 薬剤部 主任 原田 大 先生

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→

「お申し込みはこちら」をクリック→必要事項を入力し送信

☆参加受付開始日時：令和6年8月26日（月）9:00～9月6日（金）12:00

☆ご参加を事前申し込み100名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）

2) 【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

8/4で2期の実習が終わり、8/19から3期の実習が始まります。
 9薬局14名の受入です。
 ご指導よろしくお願いたします。
 何かお困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。

地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

8月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

お願い ~ 輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

8月	日勤 9:00~16:00		準夜 16:00~22:00		事務兼務
	3日(土)			あけぼの薬局 南長崎店	
4日(日)	チチブ薬局	上池袋薬局	平和通り保健薬局		黒須
10日(土)			ヒバリ薬局		藤平
11日(日)	池袋駅前 げんき薬局	ヒバリ薬局	さの薬局		北川
12日(月)	西池薬局	いちよう薬局	雄飛堂薬局 トキワ通り店		黒須
17日(土)			あかまつ薬局		藤平
18日(日)	デイジー薬局 東池袋店	こまごめ薬局	うずらやま薬局		南出
24日(土)			チチブ薬局		前原
25日(日)	雄飛堂薬局 トキワ通り店	こまごめ薬局	薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店		南出
31日(土)			かもめ薬局		江村

2) 長崎休日診療所派遣

8月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

8月	4日(日)	東池薬局
	11日(日)	長崎調剤薬局
	12日(月)	デイジー薬局東池袋店
	18日(日)	池袋萬盛堂薬局
	25日(日)	いろり薬局東長崎店

3) 医薬品・情報管理センター報告（令和6年6月）

○相談件数

薬局からの処方箋応需	14
患者からの処方箋応需	2
医療用医薬品についての相談	4
医療機関紹介	0
一般用医薬品についての相談	0
その他	1
合計	21

○管理センター売上及び仕入

売上	¥4,197,209
仕入	¥3,393,105

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	97枚
その他	311枚
合計	408枚

○情報発信

マル長について

先日、公費負担者番号 82138009 のレセプトが返戻されました。誤りを修正した際、いろいろ調べましたので今回述べたいと思います。

82138009 は東京都特殊疾病医療助成制度（通称：マル都）の公費負担者番号で、東京都では腎不全で人工透析を受けている患者に、独自にマル都と呼ばれる医療費助成を行っています。

マル都適用患者は必ず特定疾病療養受領証（通称：マル長）を所有しており、しかも処方箋には記載されていませんので窓口確認が必須です。

マル長を用いると、医療費の自己負担限度額の上限が医療機関ごとに入院、外来それぞれ月1万円の上限となります。ただし、70歳未満で標準報酬月額が53万円以上、もしくは標準報酬月額が53万円以上の被保険者に扶養されている上位所得者は、自己負担額の上限は月2万円となります。

なお、マル都を所有しているとマル長が適用となった人工透析および慢性腎不全にかかわる入院、外来の月1万円の自己負担額が助成対象となり、一般所得者であれば、自己負担額が0円となる制度です。上位所得者で月2万円の自己負担額がある場合は、マル都により1万円が助成され、自己負担額は1万円となります。

マル長は透析および慢性腎不全治療に有効ですが、その以外の疾患においては、人工透析を受けている人はほとんどの人が身体障害者手帳1級を所持しているため、東京都の場合は障害者医療費助成制度（通称：マル障）の対象となります。

しかし今回返戻されたレセプトの処方薬は慢性腎不全治療対象外薬で公費負担者番号は 82138009 のみ記載されており、疑問が生じたため、東京都福祉保健局に問い合わせをしました。

回答の要旨は以下のとおりです。

- ・東京都の管轄はマル都で、透析および慢性腎不全治療のみ対象。
- ・マル長の発行機関は保険者で、慢性腎不全治療対象外薬でも保険者がマル長適用と判断すれば有効。つまり、私見ですが

透析治療を行うクリニックにて慢性腎不全治療対象外薬が処方された場合

マル長適用と判断されてもマル都は適用不可のため、一般所得者であれば自己負担が発生し、1万円が上限となります。

マル長適用と判断されなければ、東京都の場合ならマル障を用いて受給者番号 80136 から始まる場合は外来でしたら自己負担額上限は1.8万円、80137の場合は自己負担額0円にすることができると考えられます。

東京新橋透析クリニックホームページより一部引用
文責 河添

4) 薬事日報からの今月の気になるトピック

★アドバンスケアプランニング（ACP）の重要性：調剤報酬での言及

2024年度調剤報酬改定に伴い、在宅薬学総合体制加算が新設されました。同加算を算定するための施設基準に、「在宅業務の質の向上のため、定期的に外部の学術研修を受け、その研修内容には、認知症、緩和医療、厚生労働省『人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン』等の事項が含まれていることが望ましい」との説明が含まれています。この「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」とは、アドバンスケアプランニング（ACP）のことで、まだ馴染みの薄い方もいるかもしれません。ACPIは、日本では比較的新しい概念であり、一般の認知度や普及度は海外と比べて低い傾向にあります。ACPIは、将来の医療やケアについて前もって考え、意思決定を行うプロセスであり、特に高齢者や重篤な疾患を持つ患者にとって重要です。米国やオーストラリアなどにおいてはACPIは広く認知され、法的にも制度的にもサポートされています。これらの国々ではACPIが医療の一環として標準的に行われています。ACPIに関する海外の論文では死亡した患者の家族のストレス、不安、抑うつがACPを行う群の方が有意に少なく、さらに患者と家族の満足度も高かったことが明らかになっています。日本では、ACPの普及にはまだ時間がかかるかもしれませんが、海外の事例を参考にしながら、薬剤師を含め医療従事者の教育や法的枠組みの整備、一般市民の意識啓発を進めることで、徐々にACPIが定着していくことが期待できるのではないかと思います。

5) みんなで在宅の問題を考えませんか？ 在宅医療研究会（初級編）参加者募集中

先日「在宅医療研究会（初級編）」を開催しました。

その中で、薬局が在宅訪問をするにあたっての疑問や悩み事などを共有して、解決していくための掲示板（MCS）を立ち上げています。

豊島区内の薬局さんであればどなたでも参加できます。

「これから在宅を始めるけど何から始めたら？」「既に初めてはいるけどこれで合ってる？」など普段どこに聞いたらよいか分からない様な事を皆で相談しながら解決できればと思っています。

参加をご希望の方は以下の方法で下記までメールでご連絡ください。

- ・既にMCSにアカウントがある方→お名前と薬局名をお知らせください。
- ・MCSのアカウントが無い方→お名前とメールアドレスをお知らせください。

【連絡先】

担当理事：高田馬場薬局 北川晋

メールアドレス：takada-baba@jcom.zaq.ne.jp

件名に「MCS参加希望」と記載してください。

6) 【重要・再掲】地域における夜間・休日の医薬品提供体制（在宅含む）の構築、リスト化及び周知等について

厚生労働省の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、地域において求められる薬剤師サービスとして夜間・休日対応や在宅対応等が重要な要素として挙げられるとともに、会員・非会員を問わず地域の薬局が協力し、議論を行う必要があるとされました。また、第8次医療計画においても、在宅医療ニーズを踏まえ、麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の体制構築が求められています。

これらの社会要請を踏まえ、日本薬剤師会より当該事項に関する体制構築と共に、地域住民へ情報の「見える化」の実現に関して依頼がございました。また、当該リストの公表は令和6年度診療報酬改定における地域支援体制加算・在宅薬学総合体制加算・連携強化加算の要件にもなっております。

豊島区薬剤師会では災害対策として既に利用しているeST-aidを用いてリストの作成と公表を行っています。加算の有無に係わらず各自薬局情報の入力・更新をお願い申し上げます。

【操作手順資料】

<https://doc.est-jp.com/n/other/shopfn/shop.pdf>

【掲載場所】

豊島区薬剤師会ホームページ > 区民向けご案内
<https://toyoyaku.jp/residents.html>

- リストでさがす
 - ◇外来対応一覧表
 - ◇在宅対応一覧表
 - ◇その他の薬局機能一覧表



7) 【再掲】 eST-aid をご活用ください

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-Stockという各薬局における採用薬の開示および不働医薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不働医薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム (eST-aid)

<https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

日時：2024年7月10日(水) 午後8時30分開始 午後11時15分終了

場所：豊島区南池袋3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 田崎常務理事 元谷常務理事 南出常務理事
黒須常務理事 林理事 内山理事 原嶋理事 小林理事 北川理事 原田理事 藤平理事
青嶋理事 大澤監事 廣田監事

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に関わる経口抗ウイルス薬の在庫について、動いていないゾコーバについては、会員薬局間で融通しあったことを報告した。
 - ・ 池袋あうる薬局の区からの家賃補助の現状について報告した。

協議事項

1. 事務局パソコンの件
 - ・ 佐野会長より、事務局のパソコンが動作不良を起こしているので買い替えることについて諮られ、協

議の結果、承認された。

審議事項

1. 常務理事選任の件
 - ・ 田崎理事、元谷理事、南出理事が引き続き常務理事になることが承認された。また、黒須理事が新たに常務理事になることが承認された。
2. 青嶋理事の職掌分担、前原前理事の委員等の継続の件
 - ・ 青嶋理事が地域医療・多職種連携グループへ所属することに決定した。
 - ・ 前原前理事が引き続き、池袋あうる薬局運営委員会、広報等の各委員、今まで行ってきた委員以外の業務について引き続き担当していただくことに決定した。
3. 日本薬剤師会学術大会の件
 - ・ 応募のあった北池薬局の前原先生、理事からは、伊原副会長、佐藤副会長、元谷常務理事、南出常務理事、小林理事、原田理事、廣田監事が参加することに決定した。
4. 報酬・出勤費に関する内規改定施行日の件
 - ・ 令和6年7月1日施行が承認された。
5. 医薬協議会議題の件
 - ・ 「選定療養について」と「薬局の現状報告として薬の在庫について」の2議題が承認された。
6. 池袋あうる薬局の役割および区民への貢献の件
 - ・ 池袋あうる薬局の現在の目的、役割を踏まえ、今後の区民への貢献のための事業（公益事業）および公益性のある新たな事業を考えることが決定した。
7. 事務局夏期休業日の件
 - ・ 夏期休業日は設けず、開局はカレンダー通りとする。

豊島区薬剤師会の活動（6月）

- 6/3（月） 豊島区議会正副議長就任挨拶
- 6/3（月） 防災・公衆衛生・総務担当グループミーティング
- 6/4（火） 第2回役員選考委員会
- 6/4（火） 学術・保険担当グループミーティング
- 6/5（水） 豊島区薬剤師会 6月度理事会
- 6/8（土） 東京都薬剤師会 地区・職域薬剤師会会長会
- 6/11（火） 服薬支援部会
- 6/13（木） 地域医療・多職種連携担当グループミーティング
- 6/13（木） 豊島区薬剤師会あうる薬局運営委員会
- 6/14（金） 区長面談
- 6/17（月） 東京都災害医療図上訓練報告・計画説明
- 6/20（木） 豊島区薬剤師会 学術講演会
- 6/21（金） 豊島区薬剤師会 第7回バーチャル防災訓練
- 6/23（日） 指導薬剤師更新講習会
- 6/24（月） 豊島区薬剤師会 通常総会
- 6/24（月） 豊島区薬剤師会 臨時理事会
- 6/27（木） 薬剤師・ケアマネージャーの会

令和6年度の主な活動予定

- 地区薬剤師研修会
 - 第1回 8月31日(土)
 - 第2回 日程未定
- 薬剤師研修会
 - 第1回 11月28日(木)
 - 第2回 日程未定
- 区民公開講座
 - 第1回 10月27日(日) としまセンタースクエア
 - 第2回 12月8日(日) としま区民センター(健康展同時開催)
 - 第3回 令和7年2月2日(日) としまセンタースクエア
- 健康展
 - 12月8日(日) としま区民センター

医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することにした。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目: 医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位: 容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハブ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格: 医薬品・・・薬価(消費税入) / その他医療材料等・・・取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料	
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回	110 円 (消費税入)
	その他医療機関	1 回	2,200 円 (消費税入)

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください。受領印もしくは自署をお願いいたします。
品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。
※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。
2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9 時	から	16 時 30 分
受取時間	月曜日～金曜日	9 時	から	17 時
	土曜日・日曜日・祝日	9 時	から	21 時 30 分

電話での注文は
お受けしておりません

※年未年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもお持ちください。
なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。
その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。
その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

公益社団法人豊島区薬剤師会
医薬品・情報管理センター 御中
FAX 03-3984-7546

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。

※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い(過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む)

	製品名	小分単位	備考
内	アスパラ CA 錠 200	錠	
内	セフカペンピボキシル塩酸塩小児用細粒 10%「SW」	包	
内	セレコックス錠 100mg	錠	
内	沈降炭酸カルシウム 500mg「三和」	錠	
内	パルモディア錠 0.1mg	錠	
内	ビムパット錠 50mg	錠	
内	モニラックシロップ 65%	包	
外	アピドラ注シロスター	本	
外	トルソプト点眼液 0.5%	本	
外	ベシカム軟膏 5%	本	
外	ユーパスタ軟膏	本	

* 取り扱い中止

	製品名	備考
内	セディール錠 5mg	
内	バルプロ酸 Na 徐放顆粒 40%「フジナガ」	
内	ベンズブロマロン錠 50mg「日医工」	
外	大塚糖液 5%	
外	ユーパスタコーワ軟膏	

6 都薬会発第 150-1 号
令和 6 年 7 月 6 日

地区及び職域薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会長 高橋 正夫

「ハイリスク薬チェックシート 第5版」の斡旋について

平素より、本会会務につきご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会は、(株)じほうの発行する「ハイリスク薬チェックシート第4版」を会員向け斡旋書籍としておりますが、この度同社より、「第5版」が発刊されました。引き続き下記要領にて斡旋することといたしましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴会会員への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

- 1.名称： 「ハイリスク薬チェックシート 第5版」
- 2.発行： 株式会社 じほう
- 3.判型： B5判、410頁
- 4.価格： 定価 4,730円(税込)
会員価格 4,180円(税込)
- 5.送料： 地区薬剤師会宛 無料
個人・薬局宛10冊未満 550円
個人・薬局宛10冊以上 無料
- 6.申込先： 東京都薬剤師会 薬局業務課 書籍担当
- 7.申込方法： FAXでお申し込み下さい。(FAX 03-3294-7359)
- 8.送金方法： 請求書は、ご注文頂いて一週間程後に郵送いたします。
本の到着後に、請求書に同封いたします「払込票」により最寄りの郵便局にて払込送金をお願いいたします。

<担当 事務局 薬局業務課 TEL 03-3294-0271>

6 都薬会発第 150-2 号
令和 6 年 7 月 6 日

地区及び職域薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会長 高橋 正夫

「居宅療養管理指導マニュアル 第5版」の斡旋について

平素より、本会会務につきご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では、(株)じほう発行の「居宅療養管理指導マニュアル 第4版」を斡旋しておりますが、この度内容の改訂が図られ、「第5版」が発刊されることになり、引き続き下記要領にて斡旋することといたしましたので、ご案内申し上げます。

なお、頁数の増加に伴い、価格が変更されております。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴会会員への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

- 1.名 称 : 「居宅療養管理指導マニュアル 第5版」
- 2.発 行 : 株式会社 じほう
- 3.判 型 : A4 判 、176 頁
- 4.価 格 : 定 価 3,410 円(税込)
会員価格 3,080 円(税込)
- 5.送 料 : 地区薬剤師会宛 無 料
個人・薬局宛 10冊未満 550円
個人・薬局宛 10冊以上 無 料
- 6.申 込 先 : 東京都薬剤師会 薬局業務課 書籍担当
- 7.申込方法 : FAXでお申し込み下さい。(FAX 03-3294-7359)
- 8.送金方法 : 請求書は、ご注文頂いて一週間程後に郵送いたします。
本の到着後に、請求書に同封いたします「払込票」により最寄りの郵便局にて払込送金をお願いいたします。

<担当 事務局 薬局業務課 TEL 03-3294-0271>

地区・職域薬剤師会
東京都薬剤師会 御中
(いずれかを○で囲って下さい)

幹旋図書 申込書

6 都薬会発第 150 号【6 年 7 月版】

★上記薬剤師会のいずれかにお申し込み下さい。(申込先によりご負担いただく送料が異なります 送料欄参照)

申込年月日		年 月 日
書籍届先	薬局名 又は 地区・職域薬剤師会名	※ 地区・職域薬剤師会が一括申込をされる場合は地区名のみご記入ください
	住所	〒 _____ ※地区・職域薬剤師会事務局の場合は記入不要
請求先住所		〒 _____ ※上記と同じ場合は記入不要
TEL		()
FAX		()
御担当者氏名		

該当書籍並びに別送いたします請求書の到着まで、このお申込書は大切に保管願います。

No.	出版社名	書籍名	幹旋価格 (消費税込)	+ 送料(税込)	部数
1	じほう	「ハイリスク薬チェックシート 第5版」 (定価 4,730 円)	4,180	地区・職域薬 薬局・個人 " 10 冊以上 無 料 550 円 無 料	
2	じほう	「居宅療養管理指導マニュアル 第5版」 ※7月発行予定 (定価 3,410 円)	3,080	地区・職域薬 薬局・個人 " 10 冊以上 無 料 550 円 無 料	

※ 他の幹旋刊行物につきましては『日本薬剤師会雑誌』掲載の“日薬刊行物等のご案内”欄をご覧ください

★申込は、所属の地区・職域薬剤師会事務局 もしくは下記の東京都薬剤師会事務局までお願いします。

問合先 : 事務局 薬局業務課・書籍担当
公益社団法人 東京都薬剤師会
TEL 03(3294)0271